

2016 年度山谷夜回りの会活動報告

2017/3/21

1 はじめに

村井 源

山谷夜回りの会をご支援いただきまことにありがとうございます。本年度の当会の活動報告書を皆様のお手元にお送りさせていただきます。

今年度も非常に多くの方から活動への御支援を御寄付やボランティア参加の形でいただくことができました。どうもありがとうございます。当会が活動を継続できたのは、お米・梅干・海苔・毛布・衣類・日用品・献金、そして祈りと励ましなど、様々な形でご支援くださいました皆様のおかげでございます。社会全体にわたる大きな問題の前に、当会の働きは小さなものではございますが、皆様のお力添えをいただきながら、一人一人の小さな力を合わせて、引き続いて山谷地域の野宿生活の皆様への支援活動を続けていければ幸いです。

私事ながら仕事の都合で遠方に転居することになりまして新年度より夜回りの会の物資・連絡担当とご寄付のお送り先を交代させていただくことになりました。ご支援をいただいている皆様にはご迷惑をおかけしてしまいまことに申し訳ございませんがご寄付をお送りいただく前に送り先を会のメールアドレス yomawari@infoseek.jp にお問い合わせいただけますようお願い申し上げます。私は今後会の後方支援的な活動を担当させていただく予定であります。

簡単ながら、新担当者のご挨拶と今年一年間の活動の様子をお送りさせていただきます。

2 新担当者ご挨拶

今泉 立人

いつも「山谷夜回りの会」へのご理解を賜りましてありがとうございます。カトリック田園調布教会で福祉委員をしております今泉立人（イマイズミタツト）と申します。夜回りに初めて参加したのは2002年の3月、今まで細く長く続けさせて頂いております。この活動を始められた中谷神父様、遠方から参加されていた町田教会の皆様、事務局を一手に引き受けられていた村井様と多くの方々に支えられて今に至る夜回りの会の活動をメンバーや活動の形が変わっても続けていくということ、小さくされた人々に寄り添うことが我々の使命だと思いながらこれからも身の丈にあった形で携わって参りたいと思います。引き続き応援、よろしくお願い致します。また是非一度、夜回りへのご参加をお待ちしています。

長澤 忠義

いつもご協力ありがとうございます。中高生に山谷の夜回りボランティアを経験してほしいと思いついた時以来約15年間夜回りを続けている長澤忠義と申します。とにかく山谷のおっちゃんたちに生き続けてもらいたいと続けています。4月からはご寄付いただいた生活用品を整理して山谷に持って行ったり、山谷に必要なものを買出ししたりする部分を担当させていただきます。不手際があるかもしれませんがどうぞよろしくお願い致します。

3 山谷の町の様子

今年度の初めの方は昨年度に比べて景気の勢いがなくなってきたのか山谷で野宿される方たちが一時期増加傾向にありました。しかし夏以降にまた景気が持ち直してきたようでして、現在は昨年度に引き続き、例年の水準と比較してかなり野宿の方が少ない状態で推移しております。

昔の山谷の冬の炊き出しでは、どの方もとにかく自分が冬を無事に乗り切るために必死で、非常に殺伐とした雰囲気でした。あちこちで防寒具の取り合いのケンカなどがおきていました。体調を崩される方も多く、救急車のサイレンも炊き出しの度に聞こえていました。

それに比べてここ数年は、ジャンパーとセーターは不足しがちではありますがその他は一通りお配りできるようになってきております。冬になっても山谷の皆様の表情も柔らかく、もめ事もほとんど起こらず、文字通り隔世の感があります。これもひとえに日々の活動を支援してくださっている皆様のおかげでございます。誠にありがとうございます。

4 ボランティア参加者

今年度は昨年度に比べてボランティア参加者が増加傾向にあり、冬場の運搬物の多い時期にもなんとか支障なく夜回りを続けております。今年度より新規参加で継続的に来てくださっているメンバーの方や10年以上のベテランメンバーなど、年齢や職業などもバラバラですがそれぞれの立場から見えることを反省会で共有し、次回に生かすように心がけております。またホームレス問題に限らず、現在日本社会の様々な場所で進んでいる貧困や格差の問題について関心を持つ方々が実際に現場を経験できる場としても当会がお役に立てれば幸いです。

5 おむすび

野宿の皆さまが一番必要とされるのは何と言っても栄養のある食べ物です。そのため夜回りで最優先してお配りしなければいけないのはおむすびになります。今年度もカトリック松戸教会とカトリック町田教会、そしてカトリック三軒茶屋教会の皆さまが、心を込めておむすびを作ってくださいました。三教会の皆様の他に定期的に大量のお米をご寄付くださる方、御海苔・梅干をお届けくださる方、教会から山谷までおむすびを運んでくださる方、その他にもたくさんの方々のご支援のおかげでおむすびの配布を継続できております。

おむすびの受け渡し場所を神の愛の宣教者会の修道院の方でご提供いただけることになり今年度後半よりそちらを使わせていただいております。これまでお引き受けいただいていた和田様をはじめ尽力してくださった皆様どうもありがとうございました。

今年一年を通して約7000食のおむすびとパン・お菓子・保存食等を山谷の皆様にお配りすることができました。本当にありがとうございます。来年度も山谷の皆様のお手元に心のこもった手作りのおむすびをお届けできればと思います。どうぞご支援をよろしくお願いいたします。

6 衣類・日用品

今年度も皆様のご寄付のおかげで、山谷の皆様にとくさんの衣類と日用品をお配りすることができました。ご寄附いただいた皆様、どうもありがとうございました。お配りした物資の詳細は別紙の表をご覧ください。

今年度もほぼ例年通りでございますが、春から夏にかけての期間は特に大きな問題もなく野宿の皆様の必要とされる衣類や日用品が一通りはお配りできている状況でございました。しかし、やはり秋から冬にかけてお配りする衣類、中でも防寒具類が著しく不足いたしました。今年不足が著しい品はジャンパー・ズボン下になります。特にジャンパーは山谷にお持ちすると瞬く間に無くなるという状態が続いておりました。また、ジャンパー・ズボン下ほどではございませんが、手袋・靴下・カイロ・風邪薬も冬の期間を通じて不足気味でした。毎年誠に残念ながら冬を越せずに路上でなくなる方がいらっしゃいますので、厳しい寒さの中、路上生活を送っておられる皆様にとって防寒具は文字通り命に係わる物でございます。ご家庭に中古でまだ使える男性物のジャンパー・セーターがございましたら引き続きどうぞご寄付をよろしくお願いいたします。

皆様から頂きましたご寄付は今年度も主に越冬関連用品の購入に充てさせていただいております。暖かい季節の日用品などを減らし、防寒に役立つ衣類や毛布、カイロ、手袋、風邪薬などを大目に配布するように調整しております。

7 会計報告と口座について

今年度も皆さまから大変たくさんのご寄付をたまわりました。中でもおむすびづくりでも大変お世話になっております松戸教会からは、今年もバザー売り上げをご寄付としていただきました。また毎月定期的にお志を振り込んでくださった方もいらっしゃいました。皆様どうもありがとうございました。簡単ながら、2016年度の会計報告をさせていただきます。

具体的な使途といたしましては、毛布類と衣類・日用品の購入、ご支援をいただいた皆様への報告書の郵送費となっております。郵送費として2016年度に計上させていただいておりますのは2015年度の活動報告書の郵送費（2016年4月発送）でして、今年度分の報告書の郵送費は発送手配の都合上来年度分で計上させていただく予定であります。内訳といたしましては下の表のように、冬場の毛布・下着（特に冬場の防寒用ズボン下）・日用品類の購入費が大きなウェイトを占める形となっております。

今年度の繰越金 51203 円は、2017年度の毛布購入費や日用品購入費に充てさせていただきます。どうぞご了承下さい。

当会のご寄付の口座ですが、昨年度と同じく下記の口座となっております。

どうぞよろしく願いいたします。

郵便振込ご利用の場合

口座番号：00180-8-429173

口座名称：山谷夜回りの会

金融機関より郵貯銀行へお振込の場合

銀行名：ゆうちょ銀行

金融機関コード：9900

店番：019

預金種目：当座

店名：〇一九店（ゼロイチキユウ店）

口座番号：0429173

以下に2016年度の会計報告を掲載させていただきます。

2016年度山谷夜回りの会会計報告書

(2016年4月1日～2017年3月31日)

(単位:円)

	科目	金額
1. 収入の部(A)	前年度繰越金	13133
	寄付金収入	896500
	合計	909633
2. 支出の部(B)	毛布類代	179820
	下着類・日用品類代	655192
	通信費	23418
	合計	858430
3. 次年度繰越金(A-B)		51203